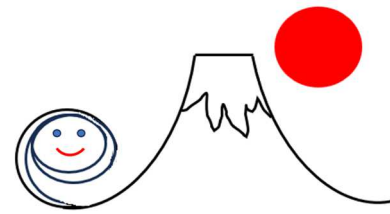


令和 7年 1月「月報」

1 はじめに

新年明けましておめでとうございます。

自衛隊家族会会員の皆様におかれましては、
お健やかに新年を迎えられたこととお慶び申し上げます。



令和7年（2025）

さて、2022年12月に策定された国家安全保障戦略、国家防衛戦略、防衛力整備計画に基づき、防衛力の抜本的強化実現のために着々と政策がすすめられているところですが、厳しい募集環境に直面する中、防衛力を「人」の面から強化するため、処遇面を含む職業としての魅力化の必要性が強く認識されています。

11月末で3回を数えた「自衛官の処遇・勤務環境の改善及び新たな生涯設計の確立に関する関係閣僚会議」の検討の柱は「処遇の改善」、「生活・勤務環境の改善」及び「新たな生涯設計の確立」であり、それぞれ、給与体系の見直し／手当の新設、自衛官候補生制度の廃止、宿舎の整備、公共交通機関が少ない基地・駐屯地等へのアクセス改善、退職後の再就職／再任用、自衛隊で培った知識・技能・経験を有効に活用できる援護等の問題提起や方向性が出され、石破総理から「これらの取り組みを通し、自衛官本人が本当に自衛隊に入って良かったと思って貰える。あるいはご家族が、隊員本人が日本のために働いて、みんなで支えてくれていて、家族に自衛官がいて良かった、という実感を持っていただきたい。」との発言がありました。（会議の細部は内閣官房のWebページに掲載されています。）

かつてなく厳しいと言われる安全保障環境の中、募集環境もかつてなく厳しい状況にあることは皆様ご承知の通りです。引き続き、募集・援護活動への協力を通じて、わが国の防衛力の人的基盤の充実に貢献してまいりましょう。

皆様には、本年もご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

2 防衛省・自衛隊の活動

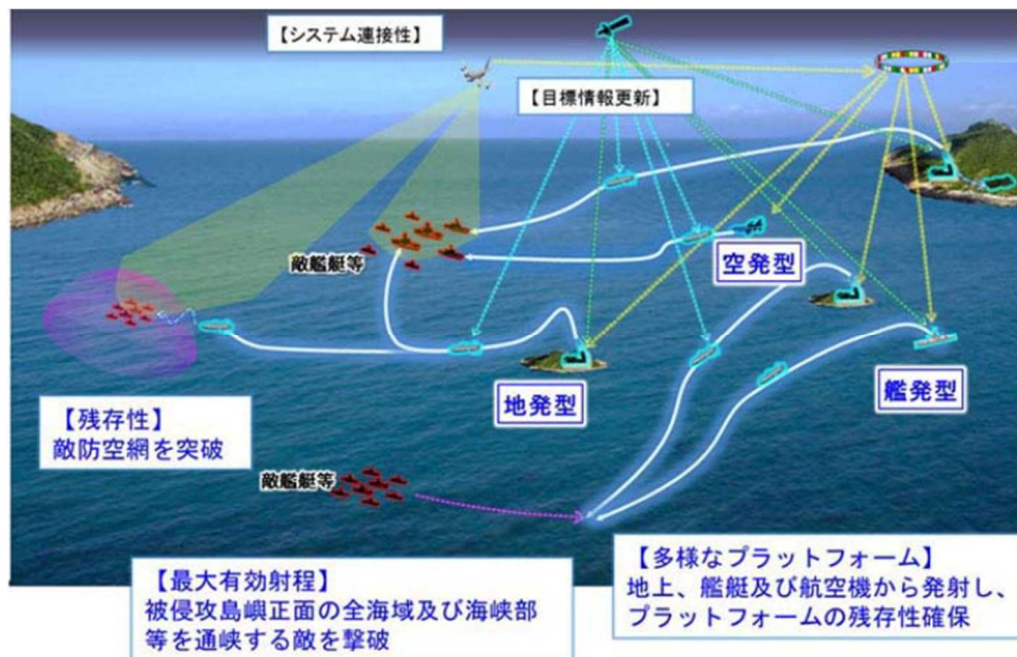
(1) 12式地对艦誘導弾能力向上型の発射試験

防衛力整備計画では、我が国への侵攻部隊を早期・遠方で阻止・排除するため、スタンド・オフ防衛能



力を強化することとしており、防衛省・自衛隊は、12式地対艦誘導弾能力向上型（地発型・艦発型）について発射試験を行ったことを、12月6日に公表しました。

（注：地発（地上から発射）、艦発（艦艇から発射）、空発（航空機から発射））



中谷防衛大臣は「発射、また飛ばすの性能、通信機能を確認した。試験の結果、事業が順調に進捗をしているということを確認できたことから、引き続き、早期装備化に向けて、開発事業を着実に進めてまいりたい。」と述べました。

(2) 令和6年度（第2回）離島統合防災訓練及び日米共同統合防災訓練

自衛隊は、災害時における対処能力の向上、在日米軍、関係地方公共団体等との連携強化のため、令和7年1月14日（火）から17日（金）の間、令和6年度離島統合防災訓練及び日米共同統合防災訓練を実施します。

この訓練は、離島等における突発的な災害への対処について訓練を実施し、被災地へのアクセス等に係る統合運用能力の向上のほか、各種活動の調整要領等に係る地方公共団体や在日米軍との連携要領を強化するとともに、迅速・効率的な災害派遣活動を実施するための資を得ることを目的としており、統合幕僚監部、陸上総隊、中部方面隊、自衛艦隊、呉地方隊、航空総隊、航空支援集団に米海兵隊岩国航空基地、在日米陸軍が参加し、滋賀県、大阪府、兵庫県、和歌山県、広島県、山口県、徳島県、高知県並びに周辺の海空域で行われます。

中部方面隊が実施する南海レスキューとも連携しており、離島統合防災訓練としては、航空機、艦艇及び車両による機動、展開及び人員物資の輸送、孤立地域被災者に対する巡回診療、患者搬送及び炊き出し支援等も訓練します。

3 家族会の活動

(1) 防衛講演会（11月27日）



高田講師

ホテル日航ノースランド帯広で、道東自衛隊家族会担当の令和6年度第2回防衛講演会を開催しました。

帯広市長、岸良第5旅団長をはじめとする250名の聴衆を前に、講師の高田克樹理事（元陸上総隊司令官）が、「激動する国際情勢と我が国の安全保障」と題し、戦後最も厳しく複雑と言われる安全保障環境、北朝鮮、わが国周辺の中露の共同行動、ウクライナ問題、台湾の価値等のトピックを解説するとともに、募集を含めた人材確保／人材の有効活用に言及しました。



道東鬼塚会長



(2) 第56次派遣海賊対処行動航空隊の激励（12月10日）

古門沖縄県家族会会長は、海自那覇基地を訪問し、12月13日出発の第56次派遣海賊対処航空隊を激励しました。

那覇基地では、第5航空群司令平木海将補、主席幕僚北原1海佐同席の下、派遣隊長の長（ちょう）2海佐と面談、隊員の皆さんに体調崩さぬ様、国の名誉と国際貢献を果たし、各任務については「有言実行」で頑張ってくださいるように激励しました。

長 派遣隊長は、以前、第2航空群（八戸）から派遣された経験があり、今回で二度目の派遣となりました。皆様のご活躍と無事の帰国をお祈りいたします。



(3) 部隊研修

ア 千葉市家族会が自衛隊体育学校と朝霞駐屯地を研修（11月）



ロンドン五輪金メダリスト
米満レスリング教官と共に



広い駐屯地内を駐屯地広報官同乗のバスに乗って見学。車中で所在部隊や施設の説明を受け、体験喫食、体育学校長表敬訪問、総合体育館でレスリング、近代五種の監督からオリンピック体験者の「生」のお話を伺いました。

次のオリンピックから近代五種のうち馬術に代わる新競技（まるでSASUKEのような）練習施設や国際基準水泳場も見学、千葉県浦安市出身の選手が質問に応じてくださる等、様々なご配慮をいただきながら、実りある研修を終えました。

イ 兵庫県自衛隊家族会が第3師団を研修（11月27日）



千僧駐屯地を訪問し、広報幹部 津村2陸尉から、自衛隊、第3師団、千僧駐屯地についてブリーフィングを受けた後、隊員食堂で喫食体験、第3後方支援連隊の整備

工場を研修、第3特殊武器防護隊の装備品研修、女性隊員との意見交換会、記念撮影、慰霊碑に献花と盛りだくさんの終日研修となりました。



普段は見られないたくさんの装備品研修では、隊員のプロとしての取り扱いの華麗さや整備担当女性隊員のきびきびした動きに質問も多く有り、全員が細部にわたり興味津々でした。女性隊員との意見交換会では、母親、妻としての隊員に、家族会の女性会員から細かい質問が投げ掛けられ、終始和やかな和気あいあいとした雰囲気の有意義なものになりました。



第3師団長 佐藤陸将を囲んで

(4) 殉職隊員の慰霊

昨年11月11日の掃海艇「うくしま」火災事故で行方不明だった古賀辰徳3曹の死亡が確認されたため、12月30日に故人の地元の柳川市で葬儀が行われました。

葬儀には佐世保地方総監以下多くの海上自衛官、長崎地方協力本部から柳川地域事務所長等、地元県議、中学校の恩師等が列席し、家族会からは奥国福岡県家族会長、石橋柳川市地区会長が列席し、故人の冥福をお祈りしました。

4 事務局からの連絡・お願い

北方領土返還要求運動全国大会の開催について

令和7年北方領土返還要求運動全国大会は、2月7日（金）11：00～12：50の間、東京都港区のニッショーホールで開催されます。

会場近傍の各家族会（群馬、茨城、埼玉、千葉、東京、神奈川）の皆様には、それぞれ5名の出席をお願いしております。（入場整理券は別途送らせていただきます。※警備のため、入場整理券がない方は入場できませんのでご了承ください。）

出席できない皆様には、昨年同様にYouTubeにより大会の様子を全国配信する予定ですので、皆様のところでご覧いただけます。

細部決まり次第、別途ご連絡いたします。

以上